

【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「BOOT 革命/USB」（コンピューター・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

1. 使用許諾

- ①お客様は本ソフトウェアを、1台のコンピューターに限り使用できます。
- ②お客様は、本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます（バンドル版は除きます）。

2. 使用許諾期間

- ①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められたとき、または本ソフトウェアのアップグレード品の契約が結ばれるまでを有効とします。
- ②お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARKは本契約を一時的に終了させていただくことがあります。

3. 保証および責任の内容

- ① CD およびマニュアルに物理的な欠陥がある場合は、購入後90日以内は無償で交換いたします（バンドル版は除きます）。ただし、お客様は本ソフトウェアの購入日を証明できる写しを添付しなければなりません。それ以外の場合は実費をご負担いただきます。
- ② ARKは、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。なお、本ソフトウェアのサポートサービス終了に関しては、Webページにてご案内をいたします。
- ③ ARKは、サポートを終了した製品に関しては、サポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
- ④サポートサービスは、ARKの規定に沿って電話、メール、FAXで行いますが、サポートサービスがお客様の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑤ ARKは、ユーザー登録がなされない場合や、登録変更の届け出がなされない場合、またはその内容に不備がある場合において、ARKからお客様へ連絡の不達において生じる不利益および損害については、一切の責任を負うものではありません。なお、メール等のご案内する本ソフトウェアに関する情報やサポートサービスの内容に関しては、Webサイトでも同内容のご案内をしておりますので、こちらをもってお客様へご連絡とさせていただきます。
- ⑥ ARK および Microsoft（バンドル版においては本ソフトウェアの提供先も含みます）は、いかなる場合にもお客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
- ⑦本契約のもとで、本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
- ⑧本契約のもとで、ARKがお客様に負担する責任の総額は、本ソフトウェアの購入金額を超えないものとします。ただし、バンドル版においてはこの条項は適用されず、ARKは金銭的な責任を負うものではありません。
- ⑨本ソフトウェアのサービス（主にサポートサービスとなりますがこれに限りません）は日本国内に限定されるものとします。また、日本語で対応することとします。

4. 禁止事項

- ①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードを解析すること。
- ②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売、輸出すること。
- ③ARKへの文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
- ④ARKへの事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
- ⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

5. その他

- ①お客様およびARKは、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とするものとします。

著作権

- ・BOOT 革命/USBの著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
- ・BOOT 革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

目 次

第 1 章 BOOT 革命/USB の使用開始にあたって	・ご利用いただける動作環境（システム要件）…………… 1-2 ・インストール…………… 1-4 ・注意事項・制限事項（操作前の確認）…………… 1-5 ・ドライブのコピーおよびエクスターナルインストー ル時の注意事項・制限事項…………… 1-7 ・USB デバイスから起動時の注意事項・制限事項…………… 1-10
第 2 章 BOOT 革命/USB を使用する	・ハードディスクのコピー…………… 2-2 ・エクスターナルインストール…………… 2-7
第 3 章 USB デバイスから Windows を起動	・USB デバイスから Windows を起動…………… 3-2 ・「どこでも起動」について…………… 3-4 ・ドライバデータベースの作成とコピーの実行…………… 3-5 ・環境修復ツール…………… 3-7 ・USB デバイスから内蔵ハードディスクにコピー…………… 3-9 ・USB ドライバ保護設定ツール…………… 3-12
第 4 章 便利ツール	・パーティションツール…………… 4-2 ・オプション設定…………… 4-4 ・ドライブ情報の取得…………… 4-6 ・コンピューター情報の取得…………… 4-7 ・アップデートの確認…………… 4-9
第 5 章 参考資料	・ディスクの初期化とパーティションの作成…………… 5-2 ・USB メモリーのフォーマット…………… 5-4
付録	・ユーザーサポートのご利用にあたって…………… 付-2 ・ユーザーサポート申込書…………… 付-3

第 1 章

BOOT 革命 /USB の使用開始にあたって

(動作環境・インストール・注意事項 / 制限事項)



ここでは、BOOT 革命 /USB の動作環境、インストール方法、BOOT 革命 /USB をご利用いただくにあたってあらかじめお読みいただきたい注意事項や制限事項について説明しています。



起動デバイスの優先順位について

最近のコンピューターの多くは CD や USB デバイス中の OS も起動可能ですが、多くの場合、初期状態ではハードディスクからの起動設定になっており、そのままでは起動できないことがあります。CD や USB デバイスから OS を起動するためには下に示した例のように、起動時にファンクションキーを押してメニューを呼び出しデバイスの選択、BIOS と呼ばれる設定画面での設定変更などが必要です。ただし、起動するデバイスの変更方法はメーカーや機種に依存してさまざまであるため、その具体的な方法は弊社ではお答えすることはできません。コンピューター付属のマニュアルやヘルプを参照するか、ハードウェアメーカーにお問い合わせください。

《起動デバイスの設定例》

● SONY VAIO SVT13119

- ①電源が切れている状態で「ASSIST」ボタンを押す。
- ②表示されたメニューの中で「USB メモリーやディスクから起動」を選択する。

● Lenovo G580

- ①電源を入れた後に BIOS が表示されるまで「F12」キーを何度も押す。
- ②リストの中から、起動するデバイスを選択する。

● NEC VALUESTAR VW770/J

- ①電源を入れた後に BIOS が表示されるまで「F2」キーを何度も押す。
- ② BIOS のメニューで「BOOT」を選択する。
- ③「1st Boot」で「Enter」キーを押し、「CD/DVD」を選択する。
- ④「Exit」→「Save changes and Reset」を選択する。

インストール

旧バージョンの BOOT 革命 /USB がインストールされている場合は、アンインストールしてからインストールを始めてください。

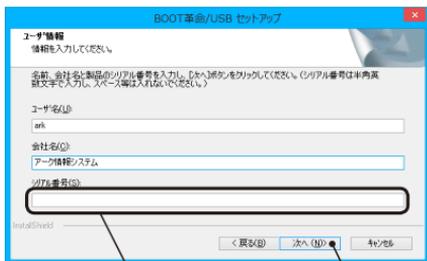
1 インストール開始

「インストール開始」をクリックします。



2 シリアル番号の入力

シリアル番号を入力します。



2 シリアル番号を入力

3 クリック



- シリアル番号は、半角英字の大文字と半角数字で入力してください。ハイフン（-）も必要です。（例） ABCD - E12 - FGH345JK67
- 受け付けられないときは、全角文字や小文字になっていないかどうかを確認してください。

3 再起動

インストール後はコンピューターを再起動します。

アンインストールは、Windows の「コントロール パネル」を開き、「プログラムのアンインストール」、または「プログラムの追加と削除（アプリケーションの追加と削除）」から行ってください。

Ark ランチャーについて

インストール後、デスクトップに「Ark ランチャー」のアイコンが作成されます。Ark ランチャーからは BOOT 革命 /USB のメイン画面や各種ツールを起動することができます。



注意事項・制限事項（操作前の確認）

安全にご利用いただくために

- ・操作完了や再起動の選択メッセージが表示されたときに、ハードディスクのアクセスランプが点滅しているような場合は、点滅が収まるまで待ってから操作を行ってください。
- ・お使いの環境やインストールされているソフトウェアによっては、正常に動作しないことがあります。このような場合は、常駐ソフトウェアの停止やアンインストール、周辺機器の取り外しなどを行うことで、動作するようになることがあります。
- ・起動してからコピー、インストールが終了するまでは、USB デバイスを含め、周辺機器の取り付け・取り外しは行わないでください。
- ・Symantec 社の「Norton GoBack」がインストールされている環境に、BOOT 革命 /USB をインストールしないでください。BOOT 革命 /USB をインストールする前に、「Norton GoBack」をアンインストールしてください。

コンピューター環境について

BOOT 革命 /USB を使用するコンピューター環境には、次のような制限および注意事項があります。

- ・ハードディスクにエラーや不良セクターが存在する場合、正常にコピーができないことがあります。Windows の「チェックディスク」やハードディスクの診断ツールなどでエラーチェックを行い、正常な状態で使用してください。
- ・マルチブート環境でも使用することはできますが、パーティションの構成によっては USB デバイスから起動できません。
- ・SATA や RAID の拡張カードを使用している環境では、メモリーの問題によりコピー先

の USB デバイスから起動できない場合があります。

- ・USB デバイスを高速化するようなユーティリティを使用していると、USB デバイスからの起動ができない場合があります。起動できない場合は、高速化ユーティリティをアンインストールしてから使用してください。
- ・BitLocker やその他の暗号化ソフトウェアで暗号化されているハードディスクをコピーすることはできません。
- ・Windows 8.1/8/7 の仮想ハードディスクドライブ (VHD) のコピーについては動作保証外となります。
- ・Windows 8.1/8 の「記憶域」で作成したディスクをコピー元として使用することはできません。

ディスク環境について

BOOT 革命 /USB を使用するディスク環境には、次のような制限および注意事項があります。

- ・NTFS 以外のファイルシステムをコピーすることはできませんが、USB ハードディスクから起動させるようにはできません。
- ・ダイナミックディスクには対応していません。
- ・512 バイトエミュレーションを行っていない 4K セクター (4K ネイティブ) フォーマットのハードディスクを使用することはできません。
- ・HPA (Hidden Protected Area) や DtoD (Disk to Disk) のような「ディスクの管理」で認識されない隠し領域 (リカバリー領域) をコピーすることはできません。ただし、「MSR (GPT 予約パーティション)」は「ディスクの管理」で認識されていなくてもコピーされます。

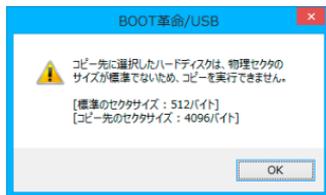
USB デバイスの消去（フォーマット） について

BOOT 革命 /USB は、コピー先の USB デバイスに対してパーティションの消去やフォーマットを行います。コピー先 USB デバイスを消去（フォーマット）するかどうかのメッセージで「はい」を選択すると、中にあるデータはすべて消去され、元の状態に戻すことはできません。複数の USB デバイスが接続されている場合は、コピー先を間違えないように、接続を外すか電源を切るとより安全です。

コピーに使用する機器について

- ・ USB2.0/3.0 の拡張カードに接続されている USB デバイスにもコピー、エクスターナルインストールを行うことができますが、拡張カードに接続された状態では USB デバイスからの起動ができないことがあります。
- ・ USB ハブ（HUB）を使用する場合、USB デバイスをハブに接続してからコピー、エクスターナルインストールを行うようにしてください。ただし、USB ハブに接続された状態では USB デバイスから起動できないことがあります。
- ・ コピー先 USB デバイスは、内蔵のハードディスクを外付け USB 接続のハードディスクとして変換するためのケースやケーブルを使用することもできます。このような機器を使用する際、アドバンスド・フォーマット・テクノロジー（AFT）のハードディスクで 1 セクターのバイト数が 4K（4096）バイトとして認識されてしまうことがあります。この現象は、株式会社タイムリーの変換ケーブル（UD-500SA）などで確認されています。BOOT 革命 /USB では、1 セクターのバイト数が 4K（4096）バイトとして認識される USB デバイスにコピーを行う場合は、次のメッセージが表示されコピーできませんので、

512 バイトとして認識される別の機器に交換してコピーを行ってください。なお、お使いのハードディスクにおける 1 セクターのバイト数の数値は、「ドライブ情報の取得」（4-6 ページ）で確認できます。



他の革命シリーズとの共存について

他の革命シリーズを使用している場合の注意事項となります。

- ・ BOOT 革命 /DISK Mirror、HD 革命 /DISK Mirror の各製品との同時使用はできません。
- ・ HD 革命 /WinProtector、SSD 革命 /Speed Advance で保護中は、EWF 方式のコピーを行うことはできません。



USB メモリーとは

フラッシュメモリーを使用したデータ記録用の補助記憶装置です。BOOT 革命 /USB では、USB コネクタと記憶媒体のフラッシュメモリーが一体になっている一般的な形状の USB メモリーの使用を想定していますが、カードリーダーを使用することで SD メディアカードやコンパクトフラッシュ、メモリースティックなどのメディアも使用することができます。

ドライブのコピーおよびエクスターナルインストール時の注意・制限事項

ハードディスクのコピー時の注意

コピー先が USB ハードディスクの場合の注意

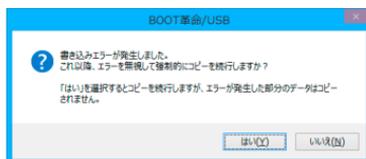
- ・コピー先とするハードディスクは、コピー元ハードディスクの使用容量より大きなサイズのハードディスクを使用してください。
- ・2TB を超えるサイズの USB ハードディスクからの起動はできません。コピーまたはエクスターナルインストールを行うハードディスクのサイズは 2TB 以下のものを使用してください。
- ・USB ハードディスクにパスワードによる保護機能や暗号化機能などのセキュリティ機能が搭載されていると、USB ハードディスクから起動ができない場合があります。

コピー先が USB メモリーの場合の注意

- ・コピー先とする USB メモリーは、64GB 以上、2TB 以下のサイズのものを使用してください。ただし、コピー元ハードディスクの使用容量によってはさらに大きなサイズの USB メモリーが必要となる場合があります。
- ・USB メモリーにパスワードによる保護機能や暗号化機能などのセキュリティ機能が搭載されていると、USB メモリーから起動ができない場合があります。
- ・SD カードのようなメモリーカード型のメディアをカードリーダーに入れて使用する場合は、マルチスロットのカードリーダーでは起動できません。シングルスロットのカードリーダーを使用してください。
- ・コンピューターによりコピー先 USB メモリーのパーティションタイプの変換が必要な場合があります。起動ができない場合は、オプションの設定 (4-5 ページ) で設定を変更してください。

コピー中のエラーについて

コピーの途中で、ハードディスクに読み込みまたは書き込みエラーが発生した場合は、コピー中にメッセージが表示されます。



エラーを無視してコピーを続行する場合は、「はい」をクリックしてください。この場合、エラーが発生した個所のデータはコピーされません (コピー先にデータが書き込まれません) のコピー先デバイスから起動できない場合があります。コピーをキャンセルする場合は「いいえ」をクリックしてください。

EFW 方式でコピーを行う場合の制限事項

EFW 方式は旧バージョンで採用されていたコピー方式ですが、Ver.6 で採用している新方式でのコピーができないときのために「オプション設定」で選択できるようになっています。EFW 方式でコピーを行うには、以下の制限事項があります。

- ・コピー元ドライブの使用容量 1GB に対して 1MB のメモリーが必要です。メモリーが不足している場合は、EFW 方式のコピーはできません。
- ・コピーを開始した時点のドライブの内容がコピーされます。コピー中に作成したファイルや変更されたファイルはコピーされません。
- ・コピー中に一時ファイルが「一時ファイルの設定」で指定した容量に達すると、コピーを継続することができません。コピーが中断され一時ファイルの内容をディスクに書き戻しますので、書き戻し中はコンピューターの電

源を切る、リセットを行うなどの操作は行わないでください。

- ・一時ファイルの増加が大きい場合は、コピー中に他のアプリケーションは使用しないようにしてください。また、常駐されているソフトが書き込みを行っている場合もありますので、常駐を停止するなどしてください。

拡大・縮小コピー時の制限

拡大コピーの制限

- ・サイズ変更ができるファイルシステムはドライブ文字が割り当てられた NTFS、FAT32、exFAT です。FAT16 や他の OS のファイルシステム、隠しパーティションなどはサイズ変更できません。
- ・「コピー先にサイズを合わせる」のオプションを使用する場合、コピー先ハードディスクの各パーティションサイズは自動的に指定されます。
- ・2TB より大きい exFAT のパーティションが存在すると、環境によってはコンピューターが起動できないことがあります。
- ・ファイルシステムが FAT32、exFAT のパーティションを拡大コピーする場合は、クラスタサイズにより拡大できるサイズに制限があります。

FAT32 の場合のサイズと上限値

パーティションのサイズ	標準クラスタサイズ	拡大できる上限値
32MB ~ 64MB	512byte	64GB
64MB ~ 128MB	1kB	128GB
128MB ~ 256MB	2kB	256GB
256MB ~ 8GB	4kB	512GB
8GB ~ 16GB	8kB	1TB
16GB ~ 32GB	16kB	2TB

※ 1KB (キロバイト) = 1024byte (バイト)

縮小コピーの制限

- ・縮小コピーの場合、コピー先のハードディスクには、「既存の各パーティションの使用量

+ 500MB) 以上の容量が必要です。

- ・コピー先ハードディスクの各パーティションの容量は自動的に調整されます。
- ・コピー元とコピー先とで、ハードディスクのヘッド数が異なるとき、容量が小さいハードディスクへコピーすること (縮小コピー) はできません。

「NTFS の暗号化を行う」オプションについて

「コピー設定の確認」画面 (2-4 ページ) で「NTFS の暗号化を行う」のオプションを選択すると、USB デバイスへコピーしたシステムドライブに対して、NTFS の暗号化を行います。暗号化されたファイル・フォルダーは、ハードディスクのコピーを行ったユーザー以外ではアクセスできなくなります。

ただし、以下のファイル・フォルダーについては、NTFS の暗号化が行われません。

- ・Windows の起動に必要なファイル、フォルダー
- ・「Program Files」フォルダー
- ・Windows のシステムフォルダー
- ・現在ログオンしている (ハードディスクのコピーを行った) ユーザー以外の「マイドキュメント」
- ・ファイル・フォルダーの属性において、「内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する」が選択不可になっているもの
※ ファイル・フォルダーの属性は、エクスプローラなどでファイル・フォルダーを右クリックして「プロパティ」を表示し、「詳細設定」をクリックすることで確認できます。

エクスターナルインストールについて

エクスターナルインストールを行う際には、以下の注意・制限事項があります。

- ・内蔵ハードディスクの Windows が起動していない状態で、エクスターナルインストールを行うことはできません。
- ・エクスターナルインストールを行う先のドライブは、MBR ディスク上のドライブとなります。GPT ディスク上のドライブは選択できません。空のドライブにはインストールできませんので、エクスターナルインストールを行う前にドライブの作成、フォーマットをしておいてください。
- ・コピー先として選択できるのは、「プライマリパーティション（基本パーティション）」です。論理ドライブは指定できません。
- ・インストール先として選択したパーティションはフォーマットされ、データが消去されます。このとき、ファイルシステムは NTFS となります。
- ・エクスターナルインストールでインストール先に指定するドライブは、十分な容量があるドライブを指定してください（64GB 以上のドライブサイズを推奨）。
- ・エクスターナルインストールで、USB デバイスにマルチブート環境を構築することはできません。起動できる OS は最後にエクスターナルインストールを指定したドライブのみとなります。

その他の注意・制限事項

BOOT 革命 /USB は、BootCamp やその他 OS エミュレーション下での動作を特に制限していませんが、そのような環境での USB デバイスからの起動に関しては動作保証外とさせていただきます。

USB デバイスから起動時の注意・制限事項

USBデバイスとコンピューターの相性問題

コンピューターによってはUSB デバイスを接続することで問題が生じることがあります。例えば、以下のような現象が確認されています。

- ・ Windows 起動後に（デスクトップが表示されてから）USB デバイスを接続しないと認識できないような環境
- ・ USB デバイスを接続した状態で内蔵コンピューターを起動すると、起動の途中で止まってしまうような環境

このようにUSB デバイスを接続した状態でコンピューターを正常に動作しない場合は、BOOT 革命 /USB を使用してもUSB デバイスから起動することはできません。

USBデバイスからの起動について

USB ハードディスクから起動した場合、以下の注意・制限事項があります。

- ・ 起動するUSB デバイスがGPT ディスク環境の場合、GPT ディスクからの起動に対応していない（UEFI ブートできない）コンピューターに接続しても起動できません。
- ・ USB デバイスから起動したときに、起動しているUSB デバイスの取り外しは行わないでください。
- ・ ドライブのコピーを行ったときにUSB デバイスを接続していたUSB ポートと、起動するUSB ポートが異なると、USB デバイスからの起動ができないことがあります。
- ・ USB デバイスから起動を行うと、USB デバイスにコピーしたシステムドライブがCドライブとなり、元のシステムドライブのドライブ文字は別のドライブ文字に割り当てられています。ハードディスクへの操作を行う場合は、ドライブ文字をよく確認してから行うようにしてください。

- ・ 内蔵ハードディスクを取り外すとUSB デバイスから起動できない環境があります。この場合は、内蔵ハードディスクは接続したままでUSB デバイスから起動するようにしてください。
- ・ お使いのコンピューターによっては、USB デバイスから起動したときに、休止状態、スタンバイ、サスペンドなどの省電力機能が正しく動作しない場合があります。正しく動作しない場合、USB デバイスからの起動時は設定を解除または無効にしてください。
- ・ USB デバイスにコピーまたはインストールしたOSのアップグレード（Windows 7 からWindows 8 へのアップグレードなど）を行うと、USB デバイスのOSが起動できなくなりますので、アップグレードは行わないようにしてください。
- ・ USB デバイスで起動中は、USB デバイスからシステムファイルが読み込まれるために、内蔵ハードディスクから起動するより動作が遅くなります。特に、USB メモリーはハードディスクに比べて速度がかなり遅くなりますのでご理解の上ご使用ください。
- ・ USB デバイスから起動した場合、アプリケーションによっては、すべての機能が使用できない、または正しく動作しないことがあります。

ページングファイルについて

お使いのコンピューターによっては、USB デバイスからWindows を起動したときに「ページング ファイル」が設定できずに、「仮想メモリが限界です」というメッセージが表示されることがあります。

「OK」をクリックしてログオンすれば、USB デバイスから起動しているWindows の操作は可能です。ただし、「ページング ファ

ル」を使用していないので、パフォーマンスが低下します。

また、ログオン画面（「ようこそ」と表示されている画面）で「個人設定を読み込んでいます」と表示されたままになる場合は、「Ctrl」＋「Alt」＋「Delete (Del)」キーを押すことでログオンできます。

この現象は内蔵ハードディスクが取り外されている場合や、内蔵ハードディスクに「FAT」または「NTFS」のパーティションが存在しない場合に発生することがありますので、「FAT」または「NTFS」のパーティションが存在する内蔵ハードディスクを接続することで現象が改善される場合があります。

内蔵ハードディスクへのコピーについて

USB デバイスから起動して内蔵ハードディスクにコピーを行う場合は、以下の注意・制限事項があります。

- ・内蔵ハードディスクへのコピー時は、コピー先となる内蔵ハードディスクのデータは全て消去されます。操作を行う前にドライブ、パーティションを確認し、必要なデータはあらかじめ BD/DVD や別の USB ハードディスク（USB メモリー）などにバックアップをとってください。
- ・コンピューターによっては、内蔵ハードディスクにリカバリーデータが保存されています。内蔵ハードディスクにコピーを行うと、このパーティションが消去されてしまいますので、リカバリー（出荷時の状態への復元）ができなくなります。あらかじめリカバリーディスクを作成するなどしてリカバリー（出荷時の状態への復元）ができるようにしてください。
- ・コピー元となる USB デバイスが USB メモリーの場合は、選択したパーティションタイプにより内蔵ハードディスクへのコピーが制限されます（4-5 ページ参照）。

USB3.0 の USB デバイスの使用について

USB3.0 デバイスにコピー、またはエクスターナルインストールを行う場合は、以下の注意事項があります。

- ・USB3.0 は下記のメーカーが提供する USB 3.0 ドライバに対応しています。
 - Intel Corporation
 - Renesas Electronics Corporation
 - ASMedia Technology Inc.
 - Etron Technology Inc.
- 上記以外の USB3.0 ドライバが使用されている環境では、USB3.0 のポートに接続した USB デバイスから起動できません。USB2.0 のポートに接続してください。
- ・USB3.0 のポートに複数の USB3.0 デバイスが接続されていると、起動ができないことがあります。起動するデバイス以外は接続を外してください。
- ・Windows 7 をコピーまたはエクスターナルインストールを行った USB デバイスからの起動途中で Windows がブルースクリーンになると、内蔵ハードディスクから起動できなくなる場合があります。詳しくは 1-12 ページコラムを参照してください。特に Windows 7 をエクスターナルインストールする場合は、この問題が発生する可能性がありますので、次のような操作を行うことをおすすめします。

ドライブのコピーを行う場合

Windows 7 は標準の状態では USB3.0 はサポートされていませんので、デバイスが認識されない場合は、ドライバをインストールして USB3.0 のデバイスが正常に使用できる状態にしてから BOOT 革命 /USB で操作を行ってください。

コピー後にはじめて USB3.0 デバイスから起動するときは、コンピューターの USB2.0 のポートに接続して起動を確認してください。

USB2.0 で正常に起動できることを確認してから、今度はコンピューターのUSB3.0のポートに接続して起動してください。

エクスターナルインストールを行う場合

Windows 7 をエクスターナルインストールでUSB3.0 デバイスにインストールする場合は、USB2.0 のポートに接続した状態で行ってください。Windows のインストールが完了後（エクスターナルインストールによるコピー終了後ではありません）、USB2.0 のポートに接続した状態で Windows を起動し、ドライバディスクなどを使用して USB3.0 のドライバをインストールしてください。



Windows 7 における USB3.0 のデバイスから起動時のシステム修復

USB3.0 接続のデバイスから起動している状態で、Windows 7 がブルースクリーンになるなど「システムの修復」が行われるような状態となった場合は、Windows のシステム修復ツールが起動します。このシステム修復は起動途中の Windows PE で行われますが、Windows 7 の Windows PE には USB3.0 のドライバが含まれておらず、修復を行う USB3.0 のデバイスが認識されません。このとき、システムの修復は内蔵ハードディスクに対して行われてしまい、内蔵ハードディスクから Windows が起動できなくなることがあります。

このような場合は、Windows 7 のインストールディスク、または、Windows 上で作成する「システム修復ディスク」でコンピューターを起動し、コマンドプロンプトで BCD の再構築 (bootrec /rebuildbcd) を行う必要があります。あらかじめ「システム修復ディスク」を作成 ([スタート] → [すべてのプログラム] → [メンテナンス] → [システム修復ディスクの作成] と選択することで作成できます) していただくことをおすすめします。

なお、Windows 8.1/8 は標準で USB3.0 をサポートしているため、この問題は発生しません。

第2章

BOOT 革命 /USB を使用する



この章では、BOOT 革命 /USB を使用して USB デバイスにコピーする手順について説明しています。

ハードディスクのコピー

BOOT 革命 /USB を使用して、起動中のシステムを含むハードディスクを、USB デバイス (USB ハードディスクや USB メモリーなど) にコピーします。なお、USB メモリーがコピー先として指定された場合は、システムドライブのみコピーを行います。

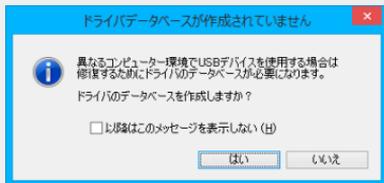
1 BOOT 革命 /USB の起動

Ark ランチャーで「ハードディスクのコピー」を選択します。



異なるコンピューター環境で USB デバイスを使用する

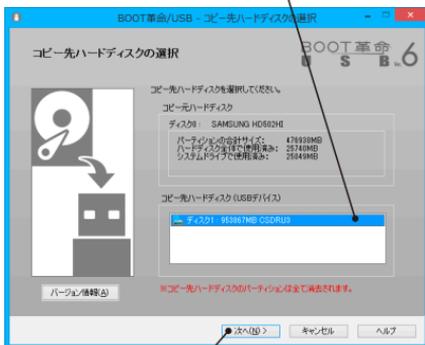
ハードディスクのコピーを行ったコンピューターとは異なるコンピューターで使用する場合は、起動に必要なドライバが足りないため起動できないことがあります。コピーを始める前にハードウェアのデータベースファイルを作成することで、異なるコンピューターで必要なドライバをデータベースファイルからインストールすることができます。データベースファイルの作成方法は、3-5 ページを確認してください。



2 コピー先ディスクの選択

コピー先として USB ハードディスクや USB メモリー、USB 接続の SD カードなどが選択できます。画面および説明においては、これらをまとめて「ハードディスク」と表記している箇所があります。

2 コピー先の USB デバイスをクリック



3 クリック

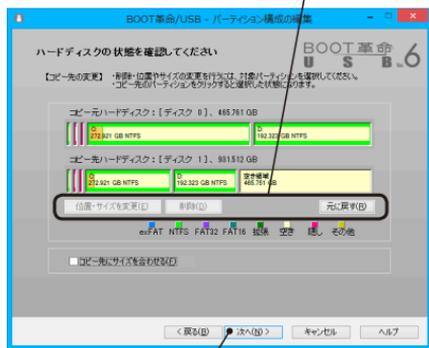
Point

コピー先が USB メモリーの場合は、次の「**3** パーティション構成の編集」画面は表示されず、「**4** コピー設定の確認」画面に進みます。

3 パーティション構成の編集

コピー先USBデバイスがハードディスクの場合、パーティションのサイズ変更を行うことができます。また、コピー先のシステムドライブ以外を削除することで、システムドライブのみコピーすることもできます。

USBデバイスにおけるパーティションの位置とサイズを変更する操作については、2-6ページを参照してください。

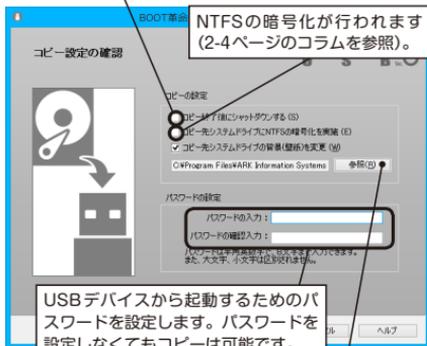


1クリック

4 コピー設定の確認

USBデバイスの暗号化や起動するためのパスワードの設定を行います。

コピー終了後にコンピューターがシャットダウンします。



USBデバイスから起動するためのパスワードを設定します。パスワードを設定しなくてもコピーは可能です。

コピー先USBデバイスから起動したときのデスクトップの背景（壁紙）を変更できます。

5 コピーの開始

「開始」をクリックするとコピーが開始します。



5クリック



コピー先にサイズを合わせる

「コピー先にサイズを合わせる」にチェックを入れることで、コピー先USBデバイスの大きさに合わせて拡大コピーを行うことができます。



Point

コピー先のUSB デバイスが空でない場合は、パーティションを全て消去してからコピーが行われます。



「はい」をクリックするとコピー先ディスクの内容がすべて消去されます。元に戻すことはできませんので、間違いがないかよく確認してください。



NTFS の暗号化

「コピー先システムドライブにNTFSの暗号化を実施」を選択すると、コピー先USBデバイスのシステムドライブに対して暗号化が行われます。その場合、コピーを行ったユーザー以外はUSBデバイス上のファイル、フォルダーにアクセスできなくなります。

なお、システムドライブ以外のドライブ（パーティション）は、暗号化が行われませんので注意してください。

暗号化を行うには、システムドライブのファイルシステムがNTFSである必要があります。また、Windows 自体が暗号化の機能をもたない下位のエディションにおいては、このオプションを選択することはできません。

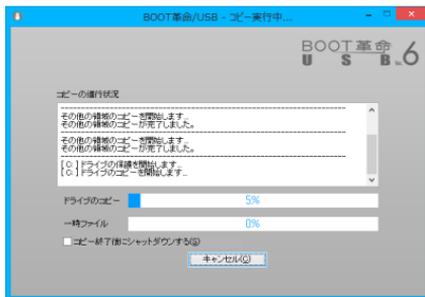
●暗号化ができないWindowsのエディション

- ・ Windows 7 Starter
- ・ Windows 7 Home Basic
- ・ Windows 7 Home Premium
- ・ Windows 8
- ・ Windows 8.1

6

コピーの実行

コピー中は進行状況が表示されます。

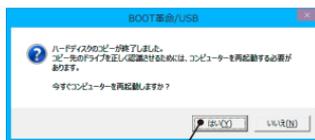


「キャンセル」をクリックするとコピーを中断できますが、コピー先ハードディスクを元に戻すことはできません。

7

コピーの終了

コピー後はコンピューターを再起動します。



⑥クリック

コピーのオプションで「コピー終了後にシャットダウンする」を選択している場合、コピー終了時に次の画面が表示され、30秒後にコンピューターがシャットダウンします。



⑦クリック



ブート設定の登録と削除

BOOT革命/USBでは、GPTディスク環境のコピーを行った場合に、コンピューターのファームウェア (BIOS) にコピー先デバイスのブート設定を登録しています。内蔵ハードディスクからUSBデバイスにコピーする場合は「BOOTUSB : USB Device」、USBデバイスから内蔵ハードディスクにコピーする場合は、「BOOTUSB : Internal Device」という名前で登録を行います。コンピューターによっては、BOOT革命/USBで登録したメニューを選択しても起動できない場合がありますので、「UEFI: (コピー先デバイス名)」を選択して起動を行ってください。なお、MBRディスク環境はブート設定を行っていませんので、コピー先USBデバイス名が表示されているものを選択してください。「ハードディスクのコピー」時に接続されていないデバイスのブート設定が見つくと、以下のメッセージが表示されます。対象のデバイスから今後起動を行わない場合のみ「はい」を押してブート設定を削除してください。

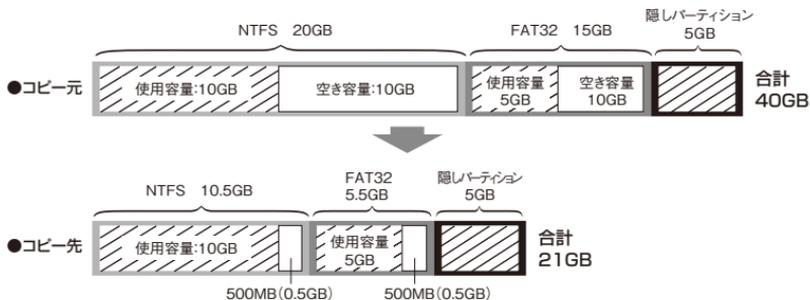


- ブート設定を削除するとコピー先デバイスから起動できなくなります。ただし、コンピューターによっては、「UEFI: (コピー先デバイス名)」を選択することで起動できるものもあります。



コピー先ハードディスクが小さい場合のコピー

コピー先ハードディスクが小さい場合は、各パーティションを縮小してコピーが行われます。コピー先パーティションのサイズは自動的に割り当てられますが、コピー先ディスクには「既存の各パーティションの使用量 + 500MB」以上の空き容量が必要です。



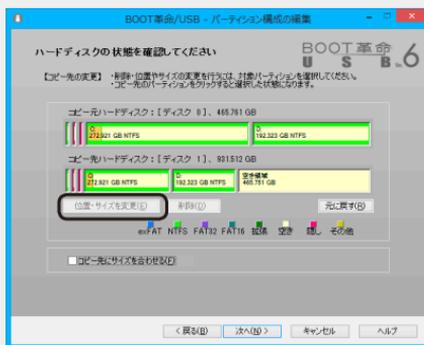
各パーティションごとに、使用容量+500MB (0.5GB) の容量がコピー先ハードディスクに必要です。

この例では、コピー先に最低21GB以上の空き容量が必要となります。



コピー先ハードディスクのパーティション構成を変更する

コピー内容の確認画面では、コピーするパーティションの位置とサイズを変更することができます。



□位置・サイズを変更

位置またはサイズを変更するには、コピー先ハードディスクの中で位置またはサイズを変更したいパーティションを選択し、「位置・サイズを変更」をクリックします。複数のパーティションを同時に操作することはできません。



「位置・サイズを変更」をクリックすると位置とサイズを変更する画面が表示されます。バーをマウスで操作するか、数値を入力してサイズと位置を変更します。



□削除

コピー先ハードディスクの中で削除したいパーティション（コピーしないパーティション）がある場合は、削除したいパーティションを選択して「削除」をクリックします。システムドライブは削除できません。

□元に戻す

コピー先ハードディスクの構成が元の状態（操作する前の状態）に戻ります。

エクスターナルインストール (Pro 版のみ)

次の条件に該当するWindowsでは、「エクスターナルインストール」によってUSBデバイスに直接インストールすることができます。

「エクスターナルインストール」が可能なWindows（日本語版のみ）

・ Microsoft Windows 8.1 ・ Microsoft Windows 8 ・ Microsoft Windows 7

※Microsoft社から発売されている正規版のインストールディスク（OEM版、DSP版も可）が必要です。インストールディスクは、サービスパック、アップデートが当たった最新のディスクを使用することをおすすめします。ただし、メーカー製コンピューターに付属しているインストールディスクはメーカー独自仕様の場合があり、エクスターナルインストールで使用できないことがあります。

※メーカー製のコンピューターに付属している「リカバリーCD」は、Windowsインストールディスクとは異なり、エクスターナルインストールに使用することはできません。

※エクスターナルインストールの対象となるWindowsのエディションは問いません。

※対象となるWindowsであっても、アップグレード版はエクスターナルインストールの対象外となります。

※日本語版以外のインストールディスクも使用できますが、動作保証外とさせていただきます。

1 BOOT革命/USBの起動

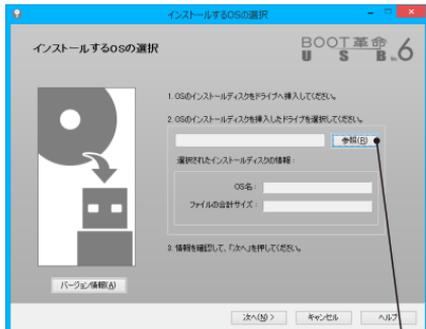
Arkランチャーで「エクスターナルインストール」を選択します。



1 クリック

2 インストールディスクの挿入

Windowsのインストールディスクを挿入し、「参照」をクリックします。



2 クリック



3 インストールディスクを挿入したドライブを選択し、「OK」をクリック

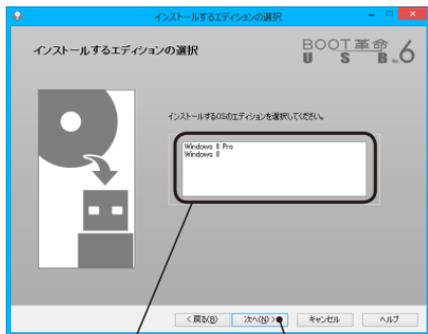
インストールディスクの情報が表示されます。



1 クリック

3 エディションの選択

使用するOSのライセンスを確認し、エディションを選択してください。



2 エディションを選択

3 クリック

4 USBデバイスの選択

USBデバイスのドライブを選択します。



4 ドライブを選択

5 クリック

USBデバイスから起動するためのパスワードを設定します (空でも可)。半角英数で8文字まで。



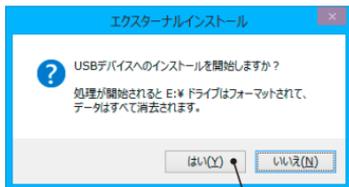
OSのインストール先とするUSBデバイス上のドライブは、MBRディスクのドライブのみ選択できます。GPTディスクのドライブは選択できません。

GPTディスクの場合は、ドライブの選択欄がグレー表示となり選択できません。



5 コピーの開始

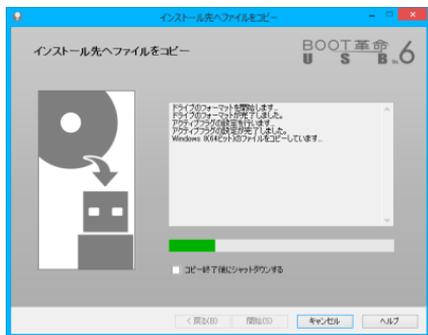
確認画面で「はい」をクリックするとコピーが開始します。



- 「はい」をクリックすると、インストール先として選択したドライブがフォーマットされます。
- 元に戻すことはできませんので、間違いがないかよく確認してください。

6 コピーの実行

ドライブのフォーマットに続き、インストールディスクから必要なファイルのコピーが行われます。



7 コピーの終了

コピーの終了後、インストールディスクはイメージ化されます。



以上でUSBデバイスへのコピーは完了しましたが、OSのインストールを続けるためには、この後USBハードディスクから起動する必要があります。

8 Windowsのインストールを実行

Windowsのインストールディスクを取り出し、コンピュータを再起動します。

以降の操作手順は、3-2ページを参照してください。

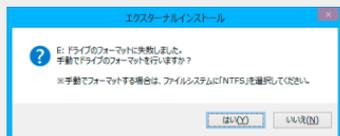


- エクスターナルインストールでインストールするOSのライセンスは、そのOSの使用許諾に従って使用してください。お客様がBOOT革命/USBでOSの使用許諾の範囲を超えて（あるいはライセンス契約に違反して）使用した場合、弊社は一切の責務および賠償責任を負いません。



表示「フォーマットに失敗しました」について

エクスターナルインストールを実行すると、選択したパーティションをフォーマットしてからインストールが行われます。パーティションがOSや他のアプリケーションによって使用中である場合はフォーマットができず、下のメッセージが表示されます。



そのまま処理を続行する場合は「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックすると、エクスターナルインストールが終了します。

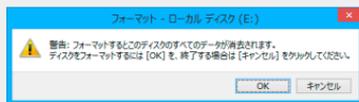
「はい」をクリックした場合は下のフォーマット画面が表示されます。



画面の一番上のドライブ文字と容量を見て、インストール先として選択したドライブであることを確認してください。

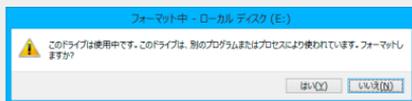
「ファイルシステム」が「NTFS」となっていることを確認し、「開始」をクリックしてください。

「開始」をクリックすると、警告メッセージが表示されます。メッセージの内容を確認して、フォーマットを開始してください。



ドライブが使用中の場合は次のメッセージが表示されます。

「はい」をクリックするとフォーマットが始まります。



フォーマット完了後に表示される下のメッセージ画面で「OK」を押すと、最初のフォーマットの画面に戻ります。フォーマット画面で「閉じる」をクリックして画面を閉じてください。「インストール先へファイルをコピー」の画面に戻り、処理が続行します。



※「フォーマット」に関する詳細は、ご使用OSのヘルプ、マニュアルなどを参照してください。



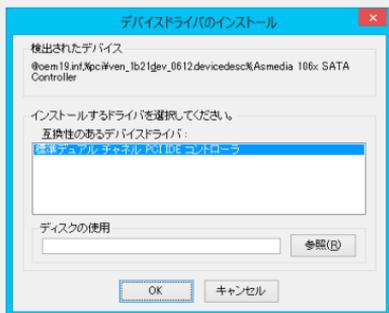
サードパーティ製のデバイスドライバを使用している環境について

USB デバイスへの必要なファイルのコピーが終わったとき、下のメッセージが表示されることがあります。これは現在使用している内蔵ハードディスクのデバイスドライバが、Microsoft 標準ではない場合に表示されます。



「はい」をクリックするとデバイスドライバを選択するための下の画面が表示されます。

「いいえ」をクリックすると、Microsoft 標準のドライバがインストールされます。

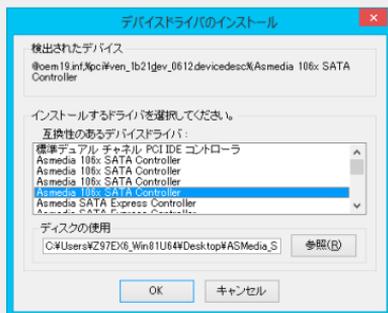


ここでインストールするデバイスドライバを選択することができます。適切なデバイスドライバをインストールすることで起動が可能になる場合があります。

ハードウェアメーカーからデバイスドライバが提供されている場合は、下の画面で「参照」をクリックしてデバイスドライバの inf ファイルを選択します。

下の画面では、Asmedia の SATA Controller が検出されていますので、「asstor64.inf」を追加します。

デバイスドライバが見つからない場合は、ハードウェアメーカーの Web サイトからダウンロードできる場合があります。デバイスドライバの入手方法は、ハードウェアメーカーにお問い合わせください。



第 3 章

USB デバイスから Windows を起動



ここでは、BOOT 革命 /USB を使用して、USB デバイスから Windows を起動する手順、さらには、コピーしたコンピュータとは別のコンピュータに接続して起動する「どこでも起動」について説明しています。

USB デバイスから Windows を起動

ハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行った USB デバイスから Windows を起動する手順です。

1 USB デバイスの接続

ハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行った USB デバイスをコンピューターに接続します。



- 起動する USB デバイスが GPT ディスク環境の場合、GPT ディスクからの起動に対応していない (UEFI ブートできない) コンピューターに接続しても起動できません。

2 設定の変更 (起動デバイスの選択)

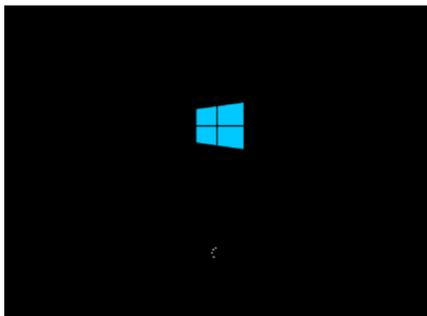
BIOS (UEFI) の設定で USB デバイスが先頭になるように起動の順番を変更する、または、起動メニューの中で USB デバイスを選択するなどして、USB デバイスから起動できるようにします。

Point

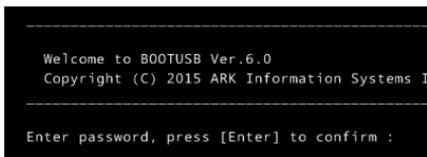
コピー先の USB デバイスが GPT ディスク環境の場合は、起動メニューなどで「BOOTUSB : USB Device (デバイス名)」と表示されますのでこちらを選択して起動してください。ただし、BIOS (UEFI) によっては「BOOTUSB : 」と表示されないものもありますので、UEFI モードのデバイス (例「UEFI : デバイス名」) を選択してください。
MBR ディスク環境の場合は、メニューの変更は行っていませんので、USB デバイス名が表示されているメニューを選択して起動してください。

3 USB デバイスから Windows が起動 (ハードディスクのコピーの場合)

USB デバイスから Windows が起動します。



2-3 ページの **4** と 2-8 ページの **4** の画面でパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。



Point

パスワードの入力を 3 回間違えると USB デバイスからの起動がキャンセルされ、コンピューターが再起動します。

```
Enter password, press [Enter] to confirm :***
Password Error! Try again?[Y][N]: Y
Enter password, press [Enter] to confirm :***
Password Error! Try again?[Y][N]: Y
Enter password, press [Enter] to confirm :***
Password failed, reboot Windows...
```

3

Windows のセットアップ開始
(エクスターナルインストールの場合)

「エクスターナルインストール」を行った USB デバイスでは、起動後に Windows のセットアップが始まります。

以後、セットアップの指示に従い Windows のインストールを行ってください。インストールの途中でコンピューターの再起動が必要な場合は、再起動するごとに USB デバイスから起動してインストールを完了してください。



- ⚠️
- USB デバイスから起動するための方法は、コンピューターメーカーや機種によって様々です。具体的な起動方法は弊社でお答えすることができませんので、コンピューター付属のマニュアルやヘルプ、メーカーの Web サイトを参照いただくか、直接ご使用のコンピューターメーカーにお問い合わせください。
-


USB デバイスからの起動について

起動用 USB デバイスから起動した場合は起動用 USB デバイスの Windows が C ドライブとなり、元のシステムドライブ (Windows がインストールされていたハードディスクドライブ) のドライブ文字は別のドライブ文字に割り当てられています。MBR ディスクの場合は、「システムで予約済み」領域にもドライブ文字が割り当てられますが、Windows の起動に必要なパーティションとなりますので、削除しないようにしてください。ハードディスクの操作を行う場合は、ドライブ文字をよく確認してから実行するようにしてください。

ディスク 0	ディスク 1
パーティション 465.76 GB システム 	パーティション 465.76 GB システム
システム予約領域 100 MB NTFS 正常 (F:\) (F:\)	システム予約領域 100 MB NTFS 正常 (F:\) (F:\)
(K:) 72.81 GB NTFS 正常 (F:\) (F:\)	(C:) 72.81 GB NTFS 正常 (F:\) (F:\)
(L:) 195.51 GB NTFS 正常 (F:\) (F:\)	(D:) 195.51 GB NTFS 正常 (F:\) (F:\)
(E:) 137.59 GB NTFS 正常 (F:\) (F:\)	(D:) 195.51 GB NTFS 正常 (F:\) (F:\)


**エクスターナルインストールと
デバイスドライバーについて**

「エクスターナルインストール」では Windows インストールディスクから新規にインストールするため、USB デバイスから起動するとサウンドが鳴らなかったり、LAN が使えないことがあります。これはインストール時にデバイスドライバーの登録ができていないことが原因です。

お使いの環境でサウンドや LAN を使用する場合は、必要なデバイスドライバーをコンピューター付属の CD やインターネット上から入手し、導入する必要があります。

デバイスドライバーの詳細については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。

「どこでも起動」について

「どこでも起動」とは、ハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行ったコンピューターとは別のコンピューターに、USB デバイスを接続して起動を行う一連の操作の総称です。「どこでも起動」を行うには、ドライブのコピー時、および別のコンピューターでの起動時にいくつかの作業が必要です。

「どこでも起動」の概要

「どこでも起動」を行うためには、始めにデバイスドライバのデータベースファイルを作成します。その後ハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行うことで、USB デバイスにデータベースファイルが収録されます。

別のコンピューターに USB デバイスを接続して起動したときに、必要なドライバが不足して Windows が起動できない場合は、環境修復ツールを利用して USB デバイス上のデータベースファイルから必要なドライバを読み込むことで、Windows を起動できるようにします。

なお、データベースファイルの作成に必要なドライバはメーカー Web サイトよりダウンロードしますので、インターネットに接続できる環境が必要です。

「どこでも起動」を行う際の注意事項

「どこでも起動」で起動したコンピューターで Windows のライセンスを再認証する必要があります。

環境修復ツールを使用してもインストールされているアプリケーションや相性の問題で、USB デバイスから Windows が起動できない場合があります。すべての環境における動作保証はできませんのでご了承ください。

「どこでも起動」を行う手順

以下の手順で「どこでも起動」を行います。

- ① ドライバのデータベースファイルを作成します。
- ② USB デバイスにハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行います。
- ③ 別のコンピューターに USB デバイスを接続します。
- ④ USB デバイスの環境修復ツールを実行します (3-7 ページ)。

データベースに登録されるドライバ

データベースファイルには以下のドライバが標準で登録されます。

・ハードディスクドライバ

Intel : ICH7 ~ ICH10 の SATA ACHI/RAID
ICH6 の一部 (ESB2 SATA AHCI/RAID)
AMD : SB7xx, SB8xx
nVidia : MCP61/68, MCP72/78

・ネットワークドライバ

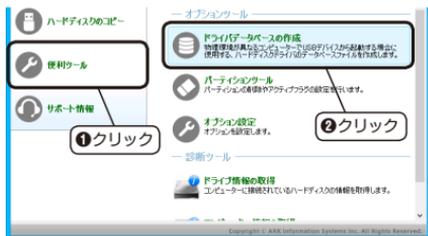
Intel
RealTek
Atheros

ドライバデータベースの作成とコピーの実行

どこでも起動を行うためには、コピーを行う前にハードウェアのデータベースファイルを作成します。

1 「ドライバデータベースの作成」の選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「ドライバデータベースの作成」を選択します。



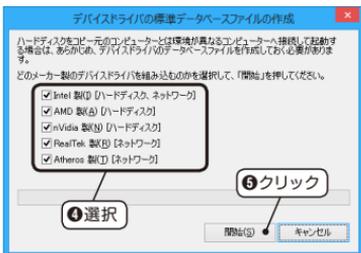
2 データベースファイル作成の確認

データベースファイルが存在しない場合は、次のメッセージが表示されます。



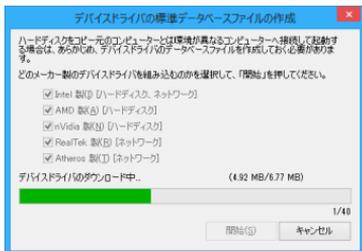
3 デバイスドライバの選択

デバイスドライバの製造元を選択します。製造元がわからない場合はすべて選択してください。



4 ダウンロードの開始

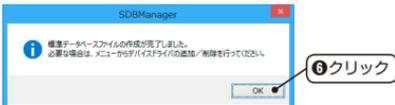
デバイスドライバのダウンロードが始まります。



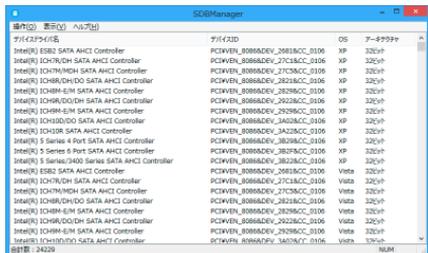
ダウンロードする時間帯によっては、ダウンロード完了までに時間がかかる場合があります。

5 データベースの作成の完了と確認

データベースファイルの作成が完了すると、メッセージが表示されます。続いて、ドライブのコピーを行ってください。



登録されたドライバは一覧で確認できます。



環境修復ツール

ハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行ったコンピューターとは別のコンピューターに USB デバイスを接続して起動した際に、Windows の起動に必要なドライバが不足して起動できないような場合は、環境修復ツールを利用して後からドライバをインストール(追加)することができます。

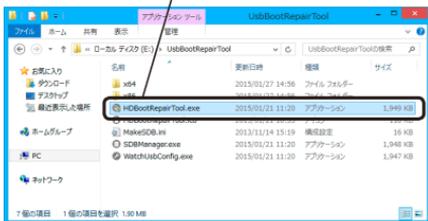
1 USB デバイスの接続

ハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行った USB デバイスを接続し、内蔵ハードディスクから Windows を起動します。

2 環境修復ツールを起動

USB デバイスのシステムドライブに該当するドライブの中に、「UsbBootRepair Tool」フォルダーが作成されています。このフォルダーの中にある「HDBootRepairTool.exe」を実行します。

① 「HDBootRepairTool.exe」を実行



- ⚠
- ドライブのコピー前にデータベースファイルを作成していない場合は、環境修復ツールを起動する前に同じフォルダーにある「SDBManager.exe」を実行してデータベースファイルを作成してください。

3 ディスクと OS の選択

ハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストールを行った OS (Windows) がインストールされている USB デバイスとパーティションを選択します。

② USB デバイスを選択

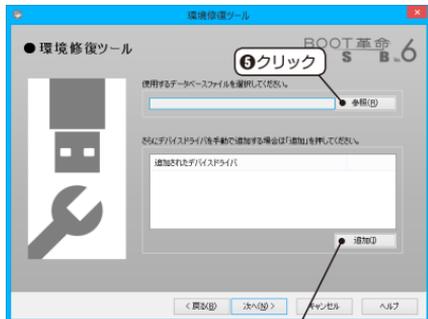


③ Windows がインストールされているパーティションを選択

④ クリック

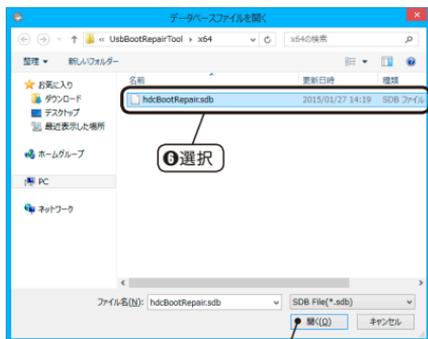
4 ドライバの登録

作成したデータベースファイル (SDB ファイル) を指定するか、Windows の起動に必要なハードウェアのドライバ情報ファイル (inf ファイル) を選択します。



ドライバ情報ファイル (inf ファイル) を使用する場合はクリックして追加します。

「UsbBootRepairTool」フォルダー中の「hdcBootRepair.sdb」ファイルを選択します。



1 クリック

Point

「hdcBootRepair.sdb」は、起動中の Windows により作成される場所が異なります。32bit 版の場合は「x86」フォルダーに、64 bit 版の場合は「x64」フォルダーに「hdcBootRepair.sdb」が作成されますので、このファイルを指定してください。



5 コンピューターの再起動

コンピューターを再起動してください。



1 クリック



- ドライバ情報ファイル (inf ファイル) を使用する場合、起動する OS 用のドライバをインストールしてください。例えば、ハードディスクのコピーを行った OS が Windows 8 だった場合、互換性がない旧 OS (Windows XP など) 用のドライバをインストールしても OS を起動できません。
- ドライバは通常ハードウェアに添付されていますが、ハードウェアメーカーの Web サイトからのダウンロードが必要な場合もあります。詳しくはハードウェアメーカーの Web サイトをご覧ください。

USB デバイスから内蔵ハードディスクにコピー (Pro 版のみ)

USB デバイスから起動して、起動中の Windows 環境を内蔵ハードディスクにコピーすることができます。

内蔵ハードディスクにコピーを行う前に

USB デバイスから内蔵ハードディスクにコピーを行うと、内蔵ハードディスクのパーティションがすべて消去されます。コンピューターによっては、リカバリーデータが保存されているパーティションまで消去されてしまいますので、この操作には注意が必要です。なお、USB メモリーから起動した場合、コピー方式 (4-4 ページ参照) により内蔵ハードディスクにコピーが制限されます。

1 BOOT 革命 / USB の起動

Ark ランチャーで「ハードディスクのコピー」を選択します。



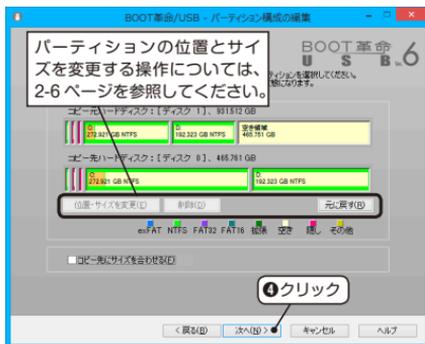
2 コピー先ディスクの選択

コピー先の内蔵ハードディスクを選択します。



3 パーティション構成の編集

コピー先内蔵ハードディスクのパーティションサイズを変更することができます。また、コピー先ハードディスクのシステムドライブ以外を削除することで、システムドライブのみを内蔵ハードディスクにコピーすることもできます。



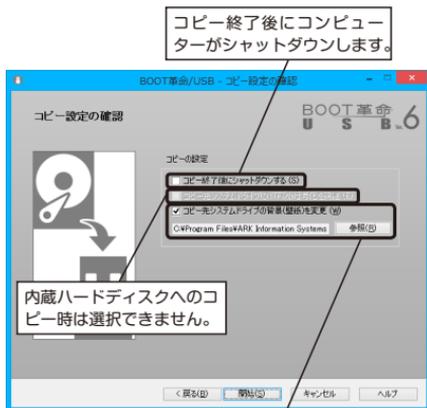
USB コピー先にサイズを合わせる

「コピー先にサイズを合わせる」にチェックを入れることで、コピー先内蔵ハードディスクの大きさに合わせて拡大コピーを行うことができます。



4 コピー設定の確認

コンピューターのシャットダウンの有無とデスクトップの背景（壁紙）を指定します。



内蔵ハードディスクのデスクトップの背景（壁紙）を変更できます。規定の「Restore.bmp」はUSBデバイスにコピーした時に設定されていた背景となりますので、コピー前の背景に戻すことができます。

5 コピーの開始

「開始」をクリックするとコピーが開始します。



5 クリック

Point

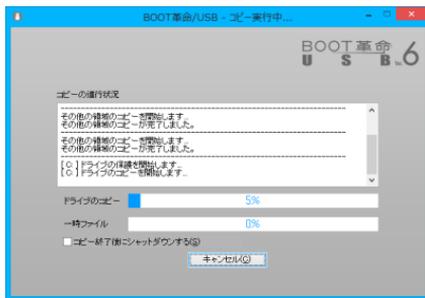
コピー先の内蔵ハードディスクが空でない場合は、パーティションを全て消去してからコピーが行われます。



- 「はい」をクリックするとコピー先ディスクの内容がすべて消去されます。元に戻すことはできませんので、間違いがないかよく確認してください。

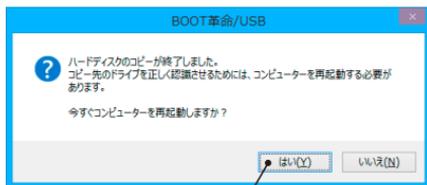
6 コピーの実行

コピー中は進行状況が表示されます。



- 「キャンセル」をクリックするとコピーを中断できますが、コピー先ハードディスクの状態を元に戻すことはできません。

コピー終了後、コンピューターを再起動します。



③ クリック

コピーのオプションで「コピー終了後にシャットダウンする」を選択している場合、コピー終了時に次の画面が表示され、30秒後にコンピューターがシャットダウンします。



Point

GPT ディスク環境の USB デバイスから内蔵ハードディスクにコピーを行った場合は、起動メニューなどで「BOOTUSB: Internal Device」（デバイス名）と表示されますのでこちらを選択してください。ただし、BIOS（UEFI）によっては「BOOTUSB:」と表示されないものもありますので、UEFI モードで（例「UEFI: デバイス名」と表示されているものを選択して）起動してください。

MBR ディスク環境の場合は、メニューの変更は行っていませんので、内蔵ハードディスク名が表示されているメニューを選択して起動してください。



エクスターナルインストールを行ったデバイスのコピーについて

エクスターナルインストールを行っている場合は BOOT 革命 /USB がインストールされていないため、そのままではコピーを行うことができません。USB デバイスから Windows を起動し、BOOT 革命 /USB をインストールすることで復元を行うことができます。

USB ドライブ保護設定ツール

BOOT 革命 /USB は、USB デバイスから Windows を起動中に USB に関する設定を保護（監視）しています。そのため、Windows アップデートや USB に関するドライバのインストールを行うことができません。

「USB ドライブ保護設定ツール」を使用して一時的に保護を解除し、インストールを行えるようにします。

保護を解除する際の注意

- ・「USB ドライブ保護設定ツール」で保護を解除した場合、起動中に他の USB デバイスを接続することはできません。接続をすると、次回より USB デバイスから Windows を起動できなくなります。
- ・USB デバイスにコピー、またはエクスターナルインストールした OS が Windows 7 の場合、保護を解除して Windows アップデートを行うと USB デバイスから起動できなくなることがあります。これは、一部の更新プログラムで USB に関する修正が含まれるために発生します。
- ・上記のように起動ができなくなった場合は、「環境修復ツール」を実行することで起動できるようになる場合があります（3-13 ページのコラム参照）。

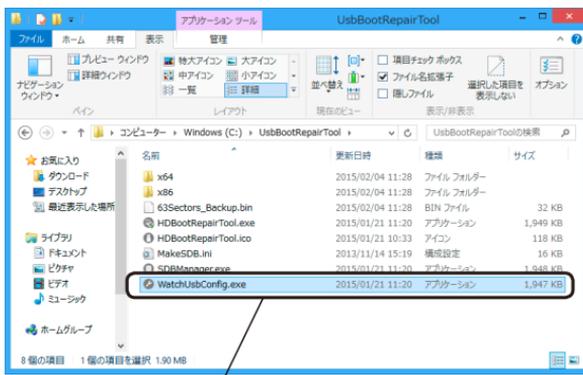
1 USB デバイスから Windows を起動

USB デバイスから Windows を起動します。

- ⚠
- 内蔵ハードディスクから起動して「USB ドライブ保護設定ツール」を起動することはできません。また、起動する USB デバイス以外は接続を外しておいてください。

2 USB ドライブ保護設定ツールの実行

USB デバイスのシステムドライブに該当するドライブ（通常は C ドライブ）の中に「UsbBoot Repair Tool」フォルダーが作成されています。このフォルダーの中にある「WatchUsbConfig.exe」を実行します（下画面）。



① 「WatchUsbConfig.exe」を実行

3 設定の変更 (保護の解除)

「USB ドライバの設定を保護しない」を選択します。

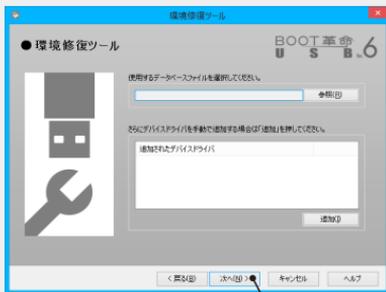


保護を解除することで、Windows アップデートやドライバのインストールを行うことができます。インストール後に設定を保護された状態に戻すには、**2**と同じ操作で「WatchUsb Config.exe」を実行し、「USB ドライバの設定を保護する」設定に戻してください。

デバイスからの起動と 環境修復ツール

保護を解除した状態で Windows アップデートなどの作業を行った場合、次回 USB デバイスから Windows が起動できない（途中で再起動を繰り返す）状態になることがあります。このような場合、「環境修復ツール」（3-7 ページ）を起動し、下記画面でドライバデータベースファイルを指定せずに、そのまま「次へ」をクリックすることで、USB に関する設定を修復して正常に起動できるようになることがあります。

ただし、この方法により確実に修復できるとは限りませんので、環境によっては修復を行っても起動できない場合があります。



何もしず、そのままクリック



USB デバイスから起動しない場合の確認

- 内蔵ハードディスクの Windows が起動してしまっただけ。または、起動する OS がいないと表示される。
コピー元内蔵ハードディスクが GPT ディスク環境の場合は、「BOOTUSB : USB Device」または「UEFI : (USB デバイスの型番)」という項目を選択してください。コピー元が MBR ディスク環境の場合は、USB デバイスの型番が表示された項目を選択してください。コンピューターによっては、「USB : (USB デバイス型番)」と表示されるものもあります。
- USB デバイスがメニューの一覧に表示されない。
 - ・ USB3.0 をネイティブサポートしていないマザーボードで、USB3.0 ポートに接続している場合は表示されません。USB2.0 のポートに接続してください。
 - ・ マザーボードによっては、電力不足などで USB デバイスが認識されなくなることがあります。特に USB3.0 のポータブルハードディスクはこの現象が起きやすいので、電源アダプターや電源を別に取り替えるための二股ケーブルを使用するなどをお試しください。
- USB デバイスから起動しない。または、起動途中で再起動を繰り返す。
 - ・ 他の USB デバイスが接続されている場合は、取り外してみてください。
 - ・ SCSI、RAID、SerialATA などの拡張ボードが接続（オンボードも含む）されている場合は、可能であれば拡張ボードを取り外して（BIOS で機能をオフにして）みてください。
 - ・ コンピューターの BIOS によってコンベンショナルメモリーが使用されている場合は、BIOS で USB に関する設定を変更することで、起動できる場合があります。BIOS で以下のような項目がある場合は、その項目を無効（Disable）にすることをお試しください。
 - 「USB Legacy Device Support」
 - 「Legacy USB Support」
 - 「USB-FDD Legacy Support(Emulation)」
 - 「USB Keyboard Support」
 - 「USB 2.0 Controller」
 - 「USB レガシー サポート 機能」
 - ・ コピーしたディスク環境と起動する環境が一致しているかを確認してください。GPT ディスク環境からコピーを行った USB デバイスは UEFI ブートで、MBR ディスク環境からコピーまたはエクスターナルインストールで作成した USB デバイスはレガシーブートで起動する必要があります。例えば、GPT ディスク環境の USB デバイスに対して、レガシーブート（UEFI と表示されていないもの）を選択しても起動はできません。また、同様に UEFI 起動できないコンピューターに接続しても起動することはできません。
 - ・ Windows のロゴが表示されてしばらくして、ブルースクリーン（「0x000007B」、 「0x0000007E」、または「INACCESSIBLE_BOOT_DEVICE」）が表示され起動しない、または、途中でコンピューターが再起動してしまう場合は、環境修復ツールを使用することで、起動できるようになる場合があります（3-7 ページ参照）。
 - ・ Windows 7 の環境をエクスターナルインストールする時に、USB デバイスが USB3.0 のポートに接続されているとドライバがインストールされないため、起動途中で再起動してしまいます。インストールを行うには、USB2.0 のポートに接続してください。
 - ・ GPT ディスクの環境を USB メモリーにコピーを行う場合、コンピューターによってはモードを切り替える必要があります（4-5 ページを参照）。

第 4 章

便利ツール



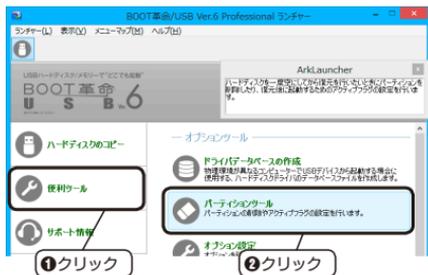
ここでは、BOOT 革命 /USB を、より有効に利用していただくための便利ツールについて説明しています。

パーティションツール

パーティションツールでは、パーティションの削除およびアクティブなパーティションの設定変更を行うことができます。

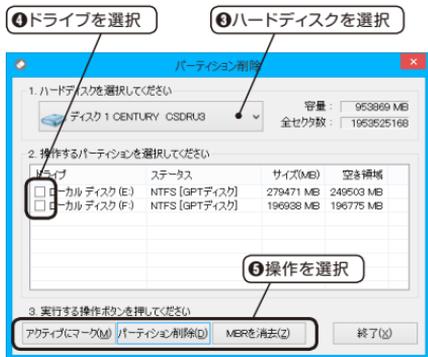
1 パーティションツールを選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「パーティションツール」を選択します。



2 パーティションを選択

削除またはアクティブにするパーティションを選択し、実行する操作ボタンをクリックします。



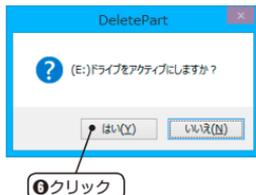
⚠️
● ドライブ文字がついていないドライブは表示されません。

3 操作の確認

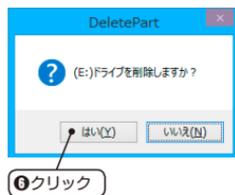
実行前に確認メッセージが表示されます。間違いがないことを確認して「はい」をクリックします。

処理中は別ウィンドウが開きますが、処理が完了するまで数十秒から数分かかることがありますので、しばらくお待ちください。

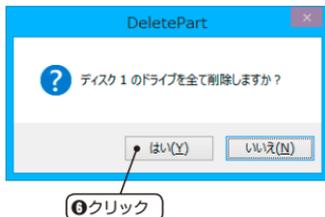
●アクティブパーティションを変更する場合



●パーティションを削除する場合

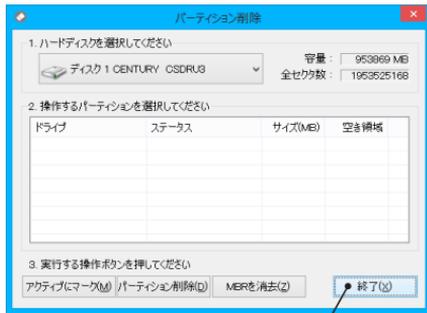


●MBRを消去する場合



4 コンピューターの再起動

パーティション操作後はコンピューターを再起動します。



①クリック



②クリック



- MBRの消去を行うと、ディスクに存在するドライバをすべて削除することになります。パーティションの削除と同様、MBRを消去すると元に戻すことはできません。
- 環境によっては、リカバリーデータが保存されているパーティションなども消去されてしまいますので、このようなパーティションを含めてディスク全体を消去する場合以外は実行しないようにしてください。



パーティションについて

MBR ディスクのパーティションには3つの種類があり、それぞれ以下のような特長があります。

- ①基本パーティション…コンピューターを起動するためのパーティションです。OSがインストールされた基本パーティションが、通常Cドライブとなります。「プライマリパーティション」「基本領域」ともいいます。
- ②拡張パーティション…基本パーティションと対になる領域ですが、拡張パーティションだけではドライブとして使用できません。拡張パーティションの中に論理ドライブを作成することによって使用できるようになります。「拡張領域」ともいいます。
- ③論理ドライブ…拡張パーティションの中に作成するパーティションです。「論理パーティション」ともいいます。



アクティブパーティションについて

「アクティブパーティション」とは、OSを起動するように指定されているパーティションのことです。通常はOSがインストールされているパーティションがアクティブパーティションとなっています。Windows 8.1/8/7のMBRディスクでは、先頭にある「システムで予約済み」領域が起動パーティションとなっていますので、ここがアクティブパーティションとなります。

なお、パーティションの1つをアクティブに設定することを「アクティブフラグを立てる」ともいいます。

オプション設定

オプション設定画面では、コピー方式や一時ファイルのサイズを変更することができます。

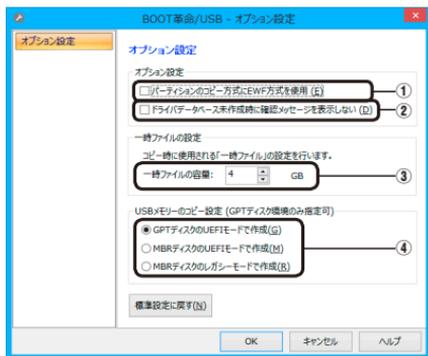
1 「オプション設定」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「オプション設定」を選択します。



2 オプションを設定

コピー方式などのオプションを設定することができます。



①パーティションのコピー方式に EWF 方式を使用

EWF 方式は BOOT 革命 /USB Ver.5 以前で使用されていたコピー方式となります。

Ver.6 では新しいコピー方式を使用しているため、通常はこのオプションを使用する必要はありません。

新しいコピー方式で問題が出る場合のみこのオプションにチェックを入れてコピーを行ってみてください。

- ⚠ EWF 方式のコピーを行う際には、いくつかの注意事項があります。1-7 ページを確認してください。

②ドライバデータベース未作成時に確認メッセージを表示しない

ドライバデータベースが未作成であっても、このオプションを使用することでハードディスクのコピー、またはエクスターナルインストール前の確認メッセージを表示しないようにできます。

③一時ファイルの設定

コピー中に変更されたファイルは、一時ファイルに格納されます。この一時ファイルのサイズは 1 ~ 100GB の間で指定できますが、コピーを行うには、コピー元ハードディスクに、ここで指定したサイズの空き領域が必要となります。変更量が指定した一時ファイルの容量を超えるとコピーは途中で中止されます。

④ USB メモリーのコピー設定 (GPT ディスク環境のみ指定可)

GPT ディスク環境を USB メモリーにコピー

する際のフォーマットを選択します。コンピューターの BIOS (UEFI) のバージョンやメーカーの特性により USB メモリーから起動できない場合に、コピー方式を切り替えることで起動できる場合があります。

なお、MBR ディスク環境ではコピー先 USB メモリーは MBR ディスクとなるため、このオプションは変更できません。

・GPT ディスクの UEFI モードで作成 (既定)

USB メモリーのパーティションタイプをコピー元と同じ GPT ディスクとします。この方式の USB メモリーから起動した場合、内蔵ハードディスクへのコピーはできません。

・MBR ディスクの UEFI モードで作成

USB メモリーのパーティションタイプを MBR に変更しますが、GPT ディスクからの起動に必要なファイルを保持した特殊なフォーマットとします。この方式の USB メモリーから起動した場合、内蔵ハードディスク

へのコピーはできません。上記「GPT ディスクの UEFI モードで作成」の方式で作成した USB メモリーから起動できない場合に、こちらの方式を使用することで起動できる場合がありますのでお試しください。

・MBR ディスクのレガシーモードで作成

USB メモリーのパーティションタイプを MBR ディスクに変換します。この方式でコピーした USB メモリーはほとんどのコンピューターで起動できるようになりますが、UEFI からの起動のみをサポートするようなコンピューター (Microsoft Surface Pro や DELL Latitude 10 essential などのタブレット PC) は、こちらの方式では起動できません。

なお、起動する際は、起動メニューの中のレガシー (UEFI と記載されていない) デバイスを選択して起動するようにしてください。



MBR ディスクと GPT ディスク

MBR ディスクは、4つのプライマリ (基本) パーティションを作成できます。基本パーティションの1つを拡張パーティションとして、その中に論理パーティションを作成することで5つ以上のパーティションを作成することもできます。使用可能なサイズは最大 2TB (テラバイト) までとなります。



GPT ディスクでは、最大 128 個のプライマリパーティションを作成することができます。GPT ディスクにしてしまうと Windows XP 32bit 版などの GPT ディスクに対応していない OS では使用できなくなります。MBR ディスクとは異なり、2TB 以上でも使用することができます。



ドライブ情報の取得

コンピューターに接続してあるハードディスクドライブの情報を取得し、表示することができます。

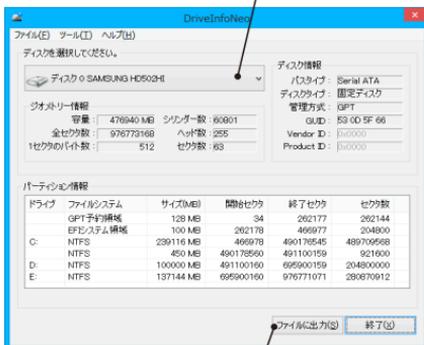
1 「ドライブ情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「ドライブ情報の取得」を選択します。



2 ドライブ情報の取得

① 情報を表示させたいディスクを選択



Point

「ツール」メニューを開き、Windowsの起動に関わる情報 (GUID、MBR) を操作することができますが、Windowsの状態に問題がないときは使用しないでください。

コンピューター情報の取得

コンピューターに関する情報を取得し、表示することができます。

1 「コンピューター情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「コンピューター情報の取得」を選択します。



2 コンピューター情報の取得

③各タブをクリックして各情報を表示

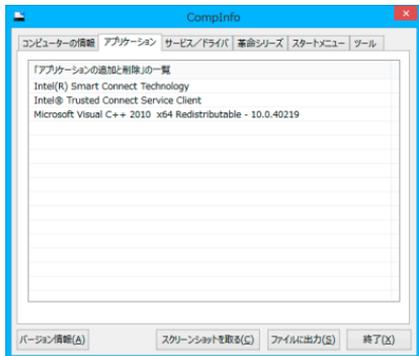


Point

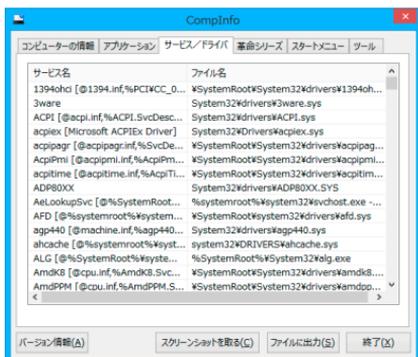
「スタートメニュー」タブでチェックしたメニューを Windows のデスクトップに作成することができます。「ツール」タブで「ディスクの管理」「タスクスケジューラ」ほかの Windows の機能呼び出すことができます。



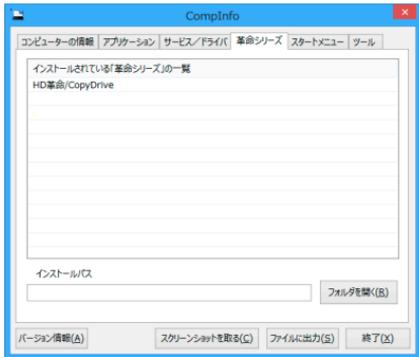
「コンピュータの情報」タブ



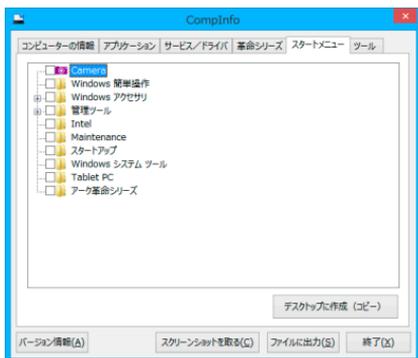
「アプリケーション」タブ



「サービス/ドライバ」タブ



「革命シリーズ」タブ



「スタートメニュー」タブ



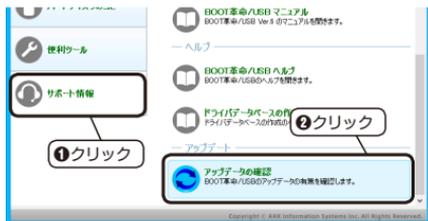
「ツール」タブ

アップデートの確認

アーク情報システムの Web サイトに接続し、アップデートの有無を確認します。アップデートのダウンロードを行うには、製品の登録が必要となります。

1 「アップデートの確認」を選択

Ark ランチャーで「サポート情報」→「アップデートの確認」を選択します。

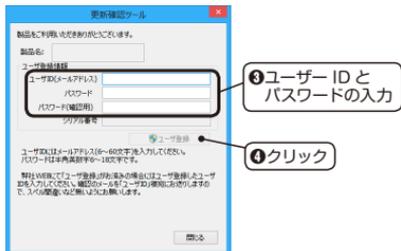


2 製品の登録確認

アーク情報システムの Web サイトにて既にユーザー登録を行われている場合は、登録したユーザー ID (メールアドレス) とパスワードを入力し、「ユーザー登録」をクリックします。

ユーザー登録を行われていない場合は、この画面より仮登録を行うことができます。仮登録を行うことで、アップデートをダウンロードとインストールを行うことができます。

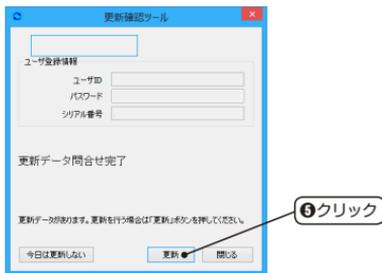
ユーザー登録を行うユーザー ID (メールアドレス)、パスワードを入力し、「ユーザー登録」をクリックします。



「更新確認ツール」にて製品の仮登録をする場合、登録される情報は、ユーザー ID (メールアドレス)、パスワード、シリアルナンバーのみとなります。サポートへのお問い合わせや優待販売で製品をご購入いただく場合は、正式なユーザー登録が必要となりますので、アーク情報システムの Web サイトでその他の項目の登録をお願いいたします。

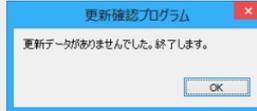
3 更新の確認

ユーザー登録の確認、または仮登録が完了すると、次の画面が表示されますので、「更新」をクリックします。アップデートが存在する場合は、ダウンロードしてアップデートを実行します。



Point

アップデートが存在しない場合は、「更新データがありませんでした。」とメッセージが表示され、「OK」をクリックすると更新の確認ツールを終了します。



第 5 章

参考資料



ここでは、BOOT 革命 /USB をお使いいただく上で、参考にしていただくための資料がまとめてあります。

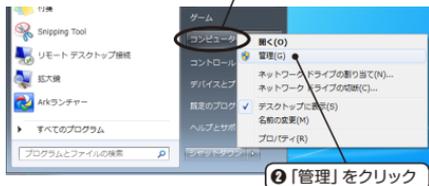
ディスクの初期化とパーティションの作成

1 ディスクの初期化

初期化したいハードディスクを接続し、Windows 8.1/8/7 を起動します。

● Windows 7 の場合

①「スタート」をクリックし、「コンピューター」を右クリック

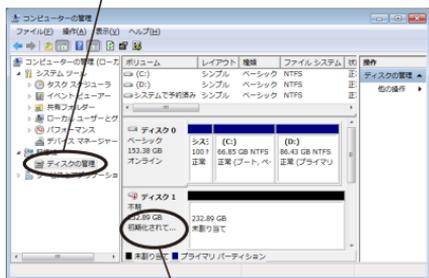


● Windows 8.1/8 の場合

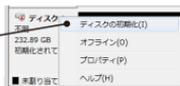


①画面左下にマウスポインタを移動し、「スタート」が表示されたらマウスを右クリック(左ではありません)

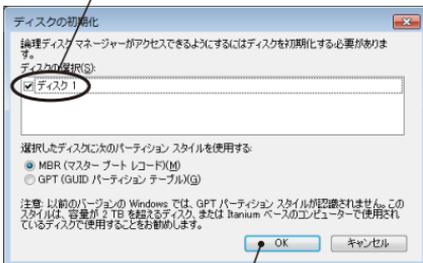
③「ディスクの管理」をクリック



⑥表示されたメニューで「ディスクの初期化」をクリック

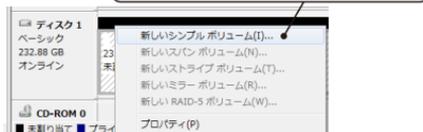
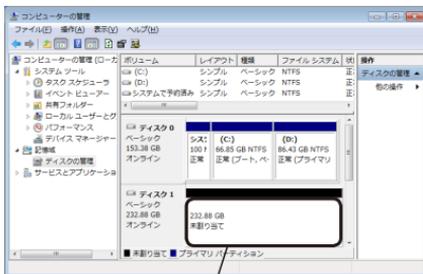


⑤ディスクを選択

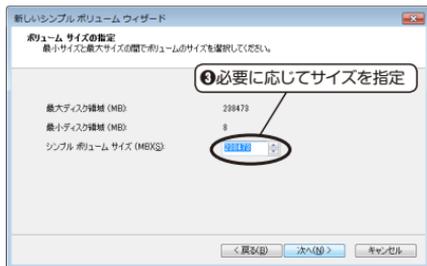


2 パーティションの作成

初期化に続いて、「ディスクの管理」からパーティションを作成することができます。

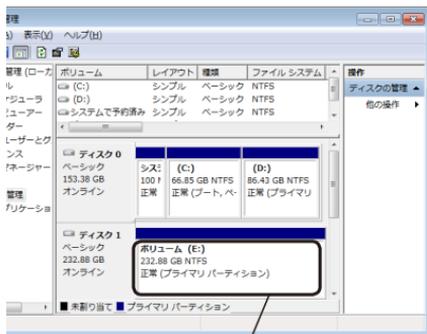
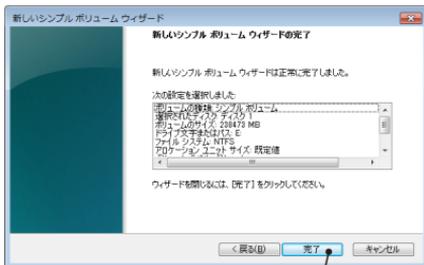


「新しいシンプル ボリューム ウィザード」が起動します。



Point

サイズが 32GB 以上のときは「FAT32」は選択できません。
「クイックフォーマットする」にチェックを入れると、フォーマット時間を短縮できます。



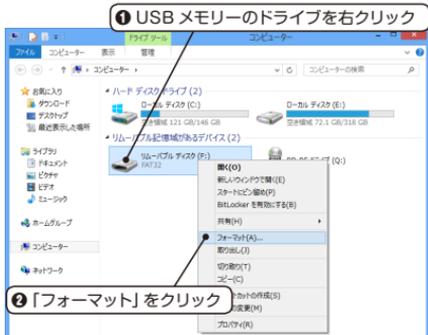
- 「フォーマット中」と表示されている間は、パーティション操作はせずに、終了するまでお待ちください。

USBメモリのフォーマット

USBメモリーをフォーマットするには、以下の操作を行います。

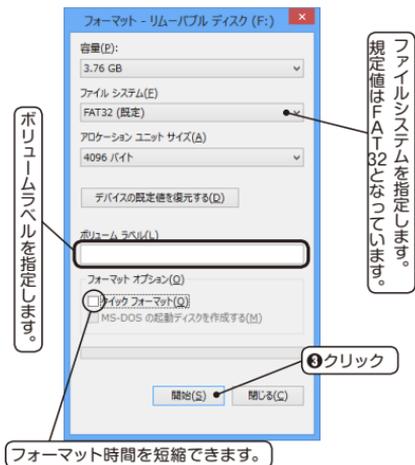
1 USBメモリーの選択

コンピュータ（マイ コンピュータ）でUSBメモリーのドライブを右クリックします。



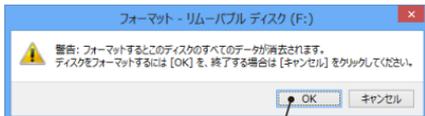
2 オプションの選択

オプションを指定して「開始」をクリックします。



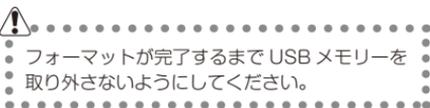
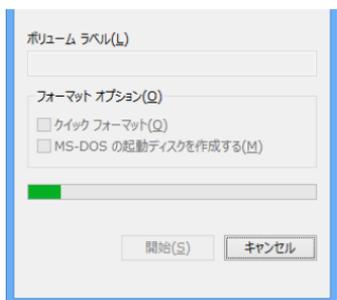
3 USBメモリーのフォーマット

フォーマット開始前に確認メッセージが表示されます。

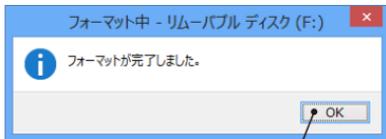


④ フォーマットしてよいかを確認し、クリック

フォーマット中は進行状況が表示されます。



「OK」をクリックして、フォーマットが完了です。



⑥ クリック

付 録



主に、ユーザーサポートに関連する情報を掲載
しています。

ユーザーサポートのご利用にあたって

お問い合わせになる前に

①操作方法・トラブル内容について調べる

インターネット接続が可能な場合は、FAQ（よくあるお問い合わせ）をご覧ください。操作上の注意点、トラブル内容と対処方法などが記載されています。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/index.html>

②アップデートをダウンロードする

最新アップデートを適用することにより、改善する場合があります。下記からダウンロードしてください。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/download/index.html>

③弊社サポートへお問い合わせる

上記によっても解決しないとき、またはインターネット接続ができない場合に弊社ユーザーサポートをご利用ください。

お問い合わせにあたって

- メールフォーム：https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK_N/MailSupport/MainGate.asp
- FAX：03-3234-9252
- TEL：03-3234-9251（祝祭日・弊社休業日を除く月～金の10～12時、13～17時）

お問い合わせいただく際、メール、FAX、電話のいずれの場合においても以下の項目が重要です。

- ①メールアドレス
- ②製品名、バージョン、シリアルナンバー
- ③ご使用のOS（Windows 8.1 など）

④ エラーメッセージ全文

障害の状況により、さらに詳しい情報が必要な場合があります。エラーが発生するまでの手順を、箇条書きでお知らせください。

（例）

1. ハードディスクを選択後、メイン画面で「次へ」ボタンをクリック
2. アプリケーションエラーが発生
エラーメッセージ「*****」（正確に転記してください）

※ お客様の個人情報は、弊社情報セキュリティ方針に従い適切な保護を行います。詳しくは弊社Webサイトをご覧ください。

※ FAXの場合、「ユーザーサポート申込書」をコピーしてご記入の上お送りください。

※ メール・FAXの場合、お問い合わせの内容により3～5営業日ほどお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 曜日や時間帯によってはお問い合わせが集中し、電話がつながりにくくなる場合がございます。その際は、恐れ入りますが時間をずらしてお電話をいただきますようお願いいたします。



- 弊社で動作保証している環境以外（自作のコンピュータ、ショップメイドのコンピュータ、CPU オーバークロック、そのほかハードウェアの改造など）で不具合が発生するケースにおいては、パーツの相性や、デバイスドライバーがその一因となっていることがあります。
- その場合、すべてのパーツの組み合わせの相性テストは不可能であり、弊社ユーザーサポート環境にて再現性のない場合や、相性により発生していると思われる問題につきましては対応が不可能な場合もあります。ご了承ください。
- 他社製品、シェアウェアなどのパーティション操作ソフトウェア（マルチブートユーティリティなど）との共存は原則としてサポート外とさせていただきます。

この用紙をコピーして各項目にご記入の上、下記まで FAX にてお送りください。

必ずユーザー登録終了後にユーザーサポートをお申し込みください。

FAX 03-3234-9252

株式会社アーク情報システム 企画販売部 ユーザーサポート係 行

「BOOT革命/USB Ver.6」ユーザーサポート申込書

お使いの環境を、わかる範囲でご記入ください（この用紙でユーザー登録はできません）。

●**お客様のお名前・ご連絡先・対象の製品**（※は必ずお書きください）

*お名前：

TEL： FAX：

E-Mail アドレス：

*シリアルナンバー：

本製品アップデート適用の有無：有・無（Ver.）

●**お使いのコンピューターについて**

メーカー名：

機種名とシリアルナンバー：

メモリー（RAM）容量：

Windows の種類：Windows 8.1 /Windows 8.1 Pro（8.1 Update 更新の有無：有・無）

Windows 8 /Windows 8 Pro

Windows 7 Starter / HomePremium / Professional / Ultimate（SP）

32ビット版 / 64ビット版

接続されている周辺機器：

ボード、カードをご利用の場合

・I/F：SCSI、eSATA、RAID、USB2.0、USB3.0、IEEE1394、その他（ ）

・メーカー、型番、チップセット：

●**お使いのソフトウェアについて**

インストールされているアプリケーションプログラム：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

.....

現象：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

エラーメッセージ：

.....

現象：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- ・本ユーザーズ・マニュアルはPDFファイルとして提供しており、Adobe Reader（Adobe社の閲覧ソフトウェア）を使用し、オンラインマニュアルとしてご利用いただくことができます。
- ・Adobe Readerはセットアップ画面からインストールすることができます。

- ・Microsoft®、Windows®8.1、Windows®8、Windows®7、Windows®Vista、Windows®XP、Windows PEは米国Microsoft Corporationの、米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・その他の会社名、商品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

BOOT 革命 /USB Ver.6 ユーザーズ・マニュアル

2015年2月1日 第1版発行

発行 株式会社アーク情報システム

〒102-0076 東京都千代田区五番町4-2 東プレビル

© 2015 Ark Information Systems

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

著作権法の範囲を超え、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。